

ビジネスとしての農業

・生産者と実需者のマッチング・



今、農業が変わりはじめています。

法改正により、新たに農業に携わろうとする個人や企業が参入しやすくなったことで、農業を新しいビジネスチャンスと考える人も多いのではないでしょうか。今回のカフェは、長浜地域の生産者と実需者が連携し、長浜の地域資源を生かした特色あるビジネスを生み出すきっかけづくりの場として開催します。「地域の特色を生かして起業したい」「特色ある商品開発をしたい」など、ビジネスとしての農業に関心のある方、ぜひご参加ください！

事例発表

- | | | | |
|-------------------------------|-----------------|-------|---------|
| ① 農商工連携の実践
～他力本願こそ小農の生きる道～ | 株式会社
土里夢ファーム | 代表取締役 | 笠井 博政 氏 |
| ② マメ科作物の特性と新たな
活用の可能性について | 龍谷大学 農学部 | 教授 | 大門 弘幸 氏 |
| ③ オリーブ栽培から次へ・・・ | 吉田農園 株式会社 | 代表取締役 | 吉田 道明 氏 |
| ④ パパイア栽培から | 長浜市地域おこし協力隊 | | 壺坂 宣也 氏 |

開催日時

10 / 16 Wed
2024. / 13:30 - 16:00

会場 | 長浜バイオ大学1階
会議室 (長浜市田村町 1266/JR 田村駅下車すぐ)

定員 | 50名

参加費 | 無料

事例紹介

農商工連携の実践

～他力本願こそ小農の生きる道～

株式会社 代表取締役
土里夢ファーム 笠井 博政 氏

農業者・生産者の素材をどのように生かして、ビジネスとして成功させることができるか、また、その素材を加工販売するためのパートナーとの協力体制構築（生産者と実需者のマッチング）において双方が抱える課題や方向性についてお話を伺います。

マメ科作物の特性と新たな活用の可能性について

龍谷大学 教授
農学部 大門 弘幸 氏

マメ科植物は、窒素肥料があまり必要ないことから環境への負荷を抑えた栽培ができる農産物です。
長浜地域は水田輪作として大豆を栽培する農家も多いなか、大豆以外のマメ科作物にも注目し、その栽培における留意点や活用法、生産者と実需者との関係作りなどについてお話を伺います。
また、国産需要の高い品種や農業ビジネスへの展開とその課題なども合わせて伺います。

オリーブ栽培から次へ

吉田農園 代表取締役
株式会社 吉田 道明 氏

無農薬「びわ湖オリーブ」栽培プロジェクトに取り組む吉田農園。そのプロジェクトをスタートしたきっかけや、どのような出口戦略を持ち、プロジェクトを展開しているのかについてお話を伺います。
また、長浜地域での農商工連携についての課題や問題点について生産者の立場でお話いただけます。

パイナップル栽培から

長浜市地域おこし協力隊 壺坂 宣也 氏

地域おこし協力隊として、長浜市北部で活動する壺坂さんは、中山間地や耕作放棄地対策として、現在100本のパイナップルの木を栽培されています。
パイナップル栽培を始めたきっかけや、その経過、今後の出口戦略など今後の展望も含め、総合的なお話をお聞かせします。

参加申込み
お問い合わせ

一般社団法人 バイオビジネス創出研究会

Tel. 0749-65-8808 Fax. 0749-65-8858

Mail. contact@biobiz.jp

参加申込みはこちらから



参加申込書

お申し込みは、ファックス、メール、QRコードからどうぞ！

ふりがな 名 前	所属名 役 職	E-mail
ふりがな 名 前	所属名 役 職	E-mail
企業・団体名		
住 所 (〒 -)		
TEL	FAX	

※ご記入いただいた個人情報は、当日のイベント参加の確認、主催者からの各種催し物のご案内など情報の提供や催し物等に参加いただいた方の調査分析にのみ使用いたします。